

高田農業高等学校 第3学年 普通教科シラバス

科目名を選択すると、該当科目のシラバスを閲覧できます。

国語（文学国語）

数学（数学A）

地理歴史（歴史総合）

英語（英語コミュニケーションⅡ）

保健体育（体育）

家庭（家庭総合）

教科(科目)	国語 (文学国語)	単位数	4単位	学年(コース)	3学年 (全コース)
使用教科書	大修館書店『文学国語』				
副教材等	数研出版『プレミアムカラー国語便覧』、浜島書店『常用漢字の1・2トライ』 尚文出版『国語必携パーフェクト演習』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の資質・能力を育成する ①農業に関する専門的な知識や技術を身に付け、地域社会に貢献する力を育成します。 ②課題解決能力を養い、効率的かつ創造的に解決する能力を育成します。 ③自ら学び、主体的、意欲的に取り組む態度を育成します。 ④農業や地域の課題を探究し続け、何事にも粘り強く挑戦する姿勢を育成します。 ⑤生命の大切さを認識し、他者を思いやる豊かな人間性を育成します。
カリキュラム・ポリシー	資質・能力を育成するため、次のような教育活動を行う ①農業に関する体験的な学習をととして、基礎的・基盤的知識や技術の習得を行います。 ②農業の実験・実習をととして、主体的に取り組み地域貢献につながる学習を行います。 ③各教科との横断的な学びや地域社会と協働した学びにより、探究的な学びに取り組みます。 ④ICTを活用したスマート農業やGAP認証の取り組みによる学習を行います。 ⑤学科に関連する企業と連携し、農業及び地域理解を深めるための現場見学や実習を行います。

2 学習目標

<p>言葉による見方、考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。</p>
--

3 指導の重点

<p>進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから、</p> <p>①基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得と、文章を的確に理解し自分の考え方を確立させることを目指します。</p> <p>②更にそれらを的確に表現し、積極的に考察を深める態度を育てます。</p> <p>③自身の考えを的確に表現するための文章能力を養います。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけようとしている。	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めようとしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言語文化の担い手としての自覚を持つようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、図やグラフでの表現の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。			

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習内容 (指導内容)	時間	評価方法
4 ・ 5	1 随想・評論 (一) 想像と共感	4 「B読むこと」	飛ぶことを知っている魂	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や身近なできごとを描いた文章に触れ、文学に親しむ。 ・内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 ・作品の内容や解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、自分の生き方について考えを深める。 	4	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
	2 小説 (一) 現代への視点	4 「B読むこと」	旅する本 【展開】 「旅する本」 について	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の描写を的確にとらえ、語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わう。 ・内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。 	4	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
		4 「B読むこと」	巨人の接待	<ul style="list-style-type: none"> ・語り手の視点による人物像を読み取る。 ・内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 ・語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について学び、内容を解釈する。 ・登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わう。 	4	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
	定期考査				1	
5 ・ 6	3 小説 (二) 語りの世界	8 「B読むこと」	山月記	<ul style="list-style-type: none"> ・李徴の心情や境遇を理解する。 ・内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深める。 ・文体の特徴や語りの構造を確認し、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わう。 	8	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
		4 「B読むこと」	【探究】 翻案 が広げる世界	<ul style="list-style-type: none"> ・翻案作品に触れ、小説教材の理解を深めるとともに、翻案作品と元の作品との比較をとおして作者の意図に迫る。 ・作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深める。 ・設定した題材に関連する複数の作品などをもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・登場人物のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感、または批判的に考察することをとおして、自分の生き方について考えを深める。 	4	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
	4 小説 (三) 想像を広げる	6 「B読むこと」	山椒魚	<ul style="list-style-type: none"> ・構成や表現の効果に着目しながら、寓意的な表現に込められた主題を読み取る。 ・内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・作品の構成や表現に興味をもち、寓意的な意味をとらえる。 	6	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
	5 随想・評論 (二) 自然を表す	4 「B読むこと」	浄瑠璃寺の春	<ul style="list-style-type: none"> ・情景描写から自然と人間の間をとらえる。 ・登場人物との対比をとおして、筆者の心の動きをとらえる。 ・作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・文中で描かれる自然と人間の間に興味をもち、情景描写をはじめとした表現を読み味わう。 	4	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査

		6 「C書くこと」	【書く】情景 を描写する	<ul style="list-style-type: none"> ・情景を伝えるために表現を工夫する。 ・比喩やオノマトペを使って表現する。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引きつける独創的な文章になるよう工夫して文章を書く。 ・比喩や象徴、オノマトペなどの表現方法を用いながら、適切な字句を使い文章を書く。 	6	授業態度 ワークシート 活動の様子 作文
7	6 小説 (四) 記憶の継承	10 「B読むこと」 4 「C書くこと」	こころ	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情理解をとおして、自己の生き方や他者との関わりを学ぶ。 ・本格的な小説を読み味わうことで、読解に必要な総合的な力をつける。 ・作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・登場人物の境遇や、それぞれの人物関係を押さえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・作品を読んで考えたことや感じたことを相手に伝えるように感想文として記述する。 	14	授業態度 ワークシート 活動の様子 感想文 定期考査
8 ・ 9	7 小説 (五) 虚構の可能性	4 「B読むこと」	美神	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台設定や時代背景をふまえて読む。 ・人物描写や表現効果に着目しながらテーマを考え、共有する。 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 ・語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈する。 	4	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
	定期考査					
10	8 随想・評論 (三) 視点を広げる	6 「B読むこと」	月の誤訳	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳の視点から日本の言語文化の特徴をとらえる。 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・作者のものの見方をとおして、日本の言語文化の特徴について考えを深める。 	6	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
	9 詩・短歌・ 俳句 韻文の世界	2 「B読むこと」 2 「C書くこと」	永訣の朝	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の表現世界をとおして、作者の心情を読み取る。 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・詩を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について理解し、内容を解釈する。 ・詩の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わう。 ・表現の特色や技巧を理解し、実際に自分で詩を作って発表し、お互いの作品を鑑賞し合う。 	4	授業態度 ワークシート 活動の様子 作品 (詩・短歌・俳句など) 定期考査

		2 「B読むこと」 1 「C書くこと」	短歌 十三首 【展開】共感 と驚異	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌の形式やリズムを味わう。 ・韻文の表現や効果について理解を深める。 ・文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・短歌を通じて我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・表現の特色や技法などについて評価することをとおして、内容を解釈する。 ・作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。 	3	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
		2 「B読むこと」 1 「C書くこと」	俳句 十五句	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句の形式やリズムを味わう。 ・韻文の表現や効果について理解を深める。 ・俳句の文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使う。 ・俳句を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・俳句の表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈する。 ・作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わう。 	3	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
		6 「C書くこと」	【書く】心情 を描写する	<ul style="list-style-type: none"> ・心情を伝えるために言葉を選び、表現を工夫する。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫する。 ・心情を生き生きと描写し、読み手の共感を得るためにふさわしい言葉や表現について吟味しながら書く。 	6	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
11	2 小説 (一) 日常への視点	4 「B読むこと」	鍋セット	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の流れと人物の変化との関係を的確にとらえる。 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 ・語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈する。 ・文体の特徴と効果をおさえ、作品を読み味わい、自身の日常や体験について考えを深める。 	4	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
		3 「B読むこと」	桔梗くんへ	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙という表現形式の特徴と文体の表現効果について理解を深める。 ・作品をとおして、日常的なできごとや体験の意味を振り返る。 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 ・語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈する。 ・文体の特徴と効果をおさえ、作品を読み味わい、自身の日常や体験について考えを深める。 	3	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査

		6 「C書くこと」	【書く】手紙 を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を意識して自分の思いを書く。 ・手紙文の構成や展開、表現のしかたなどについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して手紙を書く。 ・書簡体の特徴を活用し、正しい字句を使いながら丁寧に手紙を書く。 	6	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
	定期考査					
12	3 小説 (二) 寓意の世界	4 「B読むこと」	掟の門	<ul style="list-style-type: none"> ・心の不可解さや生の不条理さについて考える。 ・寓話のおもしろさを知る。 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化特質について理解を深める。 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写の方法などについての的確にとらえる。 ・文章の構成や展開、表現の方法をふまえ、解釈の多様性について考察している。 ・作品のもつ寓意性や、その表現方法の特徴について考えを深める。 	4	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
		8 「C書くこと」	【書く】視点 を考えて書く	<ul style="list-style-type: none"> ・語り手の視点を意識して書く。 ・文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使う。 ・文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているか考えて書く。 ・書いた文章を読み合うことを通じて語り手の重要性について理解を深めている。 	8	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
1	6 小説 (四) 時代と表現	10 「B読むこと」	舞姫	<ul style="list-style-type: none"> ・明治という時代背景・舞台設定の意味を考える。 ・登場人物の境遇と心情を理解する。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・時代背景や舞台設定をおさえ、登場人物の境遇を理解しながら、作品を読み味わう。 	10	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
		4 随想・評論 (二) 文化と伝統	4 「B読むこと」	陰翳礼讃 【展開】闇と 光	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化についての感性豊かな言語表現を読み取る。 ・日本の伝統的な価値観やその変化について考える。 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 [(1)ア] ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 [(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の表現をふまえ、伝統的な価値観やその変化について考えを深めようとしている。 	4
	定期考査					

2 . 3	5 小説(三) 発見と批評	4 「C読むこと」	檸檬	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の感覚から事物の多用なとらえ方を知る。 文体の特徴に着目し、その効果について考える。 文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使う。 語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈する。 登場人物のものの見方をおさえ、語りの特徴や効果をふまえて、作品を読み味わう。 	4	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査
		6 「C書くこと」	【書く】ショ ートストー リーを書く	<ul style="list-style-type: none"> 学んできたことを活用して、ショートストーリーを書く。 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書く。 これまでの学習内容を活用しながらショートストーリーを書き、相互評価をしたり感想を述べ合ったりする。 	6	授業態度 ワークシート 活動の様子 定期考査

計 137時間 (50分授業)

(定期考査 5時間)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」 0 時間	B「書くこと」 35 時間	C「読むこと」 102 時間
-----------------	----------------------	------------------	-------------------

7 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに、振り返りシートを記入し、提出することとなります。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示します。(副教材など)
- ・ 長期休業中の課題は定期テストの範囲に含まれます。

8 担当者からの一言

「文学国語」は、高校での国語の総決算として、様々な作品を読み味わい、豊かな言葉の力を身につける科目です。日本が育んできた言語文化の特質を理解するとともに、想像や心情を豊かにするという言葉の働きがあることを理解し、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やしましょう。さらに、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけたり、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばしたり、言葉が持つ価値への認識を深めたりすることなどを目指します。「文学国語」で学ぶことは、皆さんの生涯にわたる言語活動の基礎となります。授業では、基礎・基本を大切にするとともに、さまざまな素晴らしい文章を読み味わう活動、実際に読んだり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきます。楽しみながら、力を伸ばしていきましょう！ (担当：松田 俊英)

教科(科目)	数学 (数学A)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年
使用教科書	最新 数学A数研出版				
副教材等	Study-Up ノート 数学A(数研出版)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する</p> <p>①農業に関する専門的な知識や技術を身に付け、地域社会に貢献する力を育成します。</p> <p>②課題解決能力を養い、効率的かつ創造的に解決する能力を育成します。</p> <p>③自ら学び、主体的、意欲的に取り組む態度を育成します。</p> <p>④農業や地域の課題を探求し続け、何事にも粘り強く挑戦する姿勢を育成します。</p> <p>⑤生命の大切さを認識し、他者を思いやる豊かな人間性を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するため、次のような教育活動を行う</p> <p>①農業に関する体験的な学習をとおして、基礎的・基盤的知識や技術の習得を行います。</p> <p>②農業の実験・実習をとおして、主体的に取り組み地域貢献につながる学習を行います。</p> <p>③各教科との横断的な学びや地域社会と協働した学びにより、探究的な学びに取り組みます。</p> <p>④ICTを活用したスマート農業やGAP認証の取り組みによる学習を行います。</p> <p>⑤学科に関連する企業と連携し、農業及び地域理解を深めるための現場見学や実習を行います。</p>

2 学習目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。
- 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3 指導の重点

場合の数を求めるときに基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。平面図計や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。単元ごとに課題学習を行い、身近な課題について主体的に学習し、数学のよさを認識できるようにします。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する技能を身に付けるようにしている。	数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考え、表現できる	考え方や体系に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用している。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・小テスト ・自習課題 ・課題テスト、定期テスト などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業の取組（問題演習など） ・自習課題、ノート等の提出物 ・長期休業中の課題の提出状況 ・振り返りシートの記述の分析・ などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業の取組（授業態度など） ・自習課題、ノート等の提出物 ・長期休業中の課題の提出状況 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法	
4 ～ 10	1章 場合の数と確率	場合の数	集合の要素の個数	2	ワークシート(課題)提出 ワークシート(発問)評価 授業態度 定期テスト	
			数えあげの原則	2		
			順列	4		
			組合せ	4		
		確率	事象と確率	3		ワークシート(課題)提出 ワークシート(発問)評価 授業態度 定期テスト
			確率の基本性質	3		
			余事象	2		
課題学習	パーコードの仕組み	独立な試行の確率	3	ワークシート(課題)提出 ワークシート(発問)評価 授業態度 定期テスト		
		反復試行の確率	4			
		条件つき確率	3			
			2			
11 ～ 3	3章 図形の性質	三角形の性質	三角形と比	4	ワークシート(課題)提出 ワークシート(発問)評価 授業態度 定期テスト	
			三角形と重心・外心・内心	3		
			チェバの定理・メネラウスの定理	4		
		円の性質	円周角の定理	2	ワークシート(課題)提出 ワークシート(発問)評価 ワークシート(課題)提出 ワークシート(発問)評価 授業態度 定期テスト	
			円に内接する四角形	3		
			円と接線	3		
			接線と弦のつくる角	3		
			方べきの定理	3		
		2つの円	2			
		作図	作図(平行線の作図・線分の作図)	5		
空間図形	空間における直線と平面	2				
	多面体	2				
課題学習	最短の経路	2				

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

長期休業中(春休み・夏休み・冬休み)には課題を出します。各学期において、随時ノートを提出してもらいます。その他、授業中に小テストや演習課題などを課します。

8 担当者からの一言

黒板に書かれたものをただノートに写すのではなく、どうしてそうなるのかを良く考える。また、教科書の問題だけで満足せず自らワークの問題に取り組み、わからない所はそのままでなく、担当教師に質問すること。

ワークシートやワークブックの提出期限を守り、主体的に取り組むこと。

(担当：高橋 哲也)

教科(科目)	地理歴史（歴史総合）	単位数	2単位	学年(コース)	3学年
使用教科書	高等学校 新歴史総合(第一学習社)				
副教材等	新詳歴史総合（浜島書店） 新歴史総合ノート（第一学習社）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する</p> <p>①農業に関する専門的な知識や技術を身に付け、地域社会に貢献する力を育成します。</p> <p>②課題解決能力を養い、効率的かつ創造的に解決する能力を育成します。</p> <p>③自ら学び、主体的、意欲的に取り組む態度を育成します。</p> <p>④農業や地域の課題を探究し続け、何事にも粘り強く挑戦する姿勢を育成します。</p> <p>⑤生命の大切さを認識し、他者を思いやる豊かな人間性を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するため、次のような教育活動を行う</p> <p>①農業に関する体験的な学習をとおして、基礎的・基盤的知識や技術の習得を行います。</p> <p>②農業の実験・実習をとおして、主体的に取り組む地域貢献につながる学習を行います。</p> <p>③各教科との横断的な学びや地域社会と協働した学びにより、探究的な学びに取り組みます。</p> <p>④ICTを活用したスマート農業やGAP認証の取り組みによる学習を行います。</p> <p>⑤学科に関連する企業と連携し、農業及び地域理解を深めるための現場見学や実習を行います。</p>

2 学習目標

<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>

3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。</p>	<p>近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につけている。</p>	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身につけている。</p>

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・レポート提出 ・演習プリントへの取り組み などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・レポート提出 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・レポート提出 ・授業中の発言や意見文発表などへの取り組み などから、評価します。
内容のまとまりごとに、 各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。			

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 ~ 7	第1部歴史の扉		1 歴史と私たち 2 歴史の特質と資料	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、 それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。	2 3	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	第2部近代化の世界と日本		第1節 18世紀のアジアの繁栄	・清と東アジア ・東アジアの成熟期	5	
	第1章近代化と私たち		第2節 工業化の進展と国民国家の建設	・産業革命 ・自由主義とナショナリズム	5	
			第3節 結び付く世界と日本の開国	・ヨーロッパがもたらした衝撃 ・清と日本の開国 ・日本も立憲国家	5	
			第4節 帝国主義とアジア諸国の変容	・日本の対外戦争 ・日露戦争 ・糸が支えた産業革命	5	
8 9 ~ 12	第2章国際秩序の変化や大衆化と私たち		第1節 第一次世界大戦と大衆社会	・すべてが戦争に巻き込まれた ・社会主義国家誕生 ・戦争がもたらしたこと ・空前の繁栄の光と影	3 3	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
			第2節 経済危機と第二次世界大戦	・恐慌の嵐 ・日本と中国の対立 ・再びの世界大戦 ・戦争が終わった	3 4	
			第3節 第二次世界大戦後の世界と日本	・新しい世界秩序 ・日本の被占領 ・日本が新たな道を歩み始めた	4 4	
12 ~ 3	第3章 グローバル化と私たち		第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	・アジアとアフリカ諸国の独立 ・核戦争の危機 ・奇跡の高度成長	4 4	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	第2節 世界秩序の変容と日本		・アジアの躍動 ・冷戦終結 ・ソ連消滅 ・アメリカ衰退 ・グローバル化 ・時代の転換点に立って	3 3		

計 70時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・レポート提出
- ・授業中の発言や意見文発表などへの取り組み

8 担当者からの一言

身近な事柄と世界史とのかかわりへの関心や、諸地域と歴史の流れの理解を大切にし、現代の世界が当面する課題について歴史的な背景を踏まえて考察する力を養いたいと思います。(担当：花ヶ前盛仁)

教科(科目)	英語 (英語コミュニケーションⅡ)	単位数	2 単位	学年(コース)	3 学年
使用教科書	『All Aboard! English Communication II』 (東京書籍)				
副教材等	エースクラウン英和辞典、All Aboard! Workbook (東京書籍)、『フレーズで英単語 3000』『フレーズで英単語 3000 WORKBOOK II』 (浜島書店)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する</p> <p>①農業に関する専門的な知識や技術を身に付け、地域社会に貢献する力を育成します。</p> <p>②課題解決能力を養い、効率的かつ創造的に解決する能力を育成します。</p> <p>③自ら学び、主体的、意欲的に取り組む態度を育成します。</p> <p>④農業や地域の課題を探求し続け、何事にも粘り強く挑戦する姿勢を育成します。</p> <p>⑤生命の大切さを認識し、他者を思いやる豊かな人間性を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するため、次のような教育活動を行う</p> <p>①農業に関する体験的な学習をとおして、基礎的・基盤的知識や技術の習得を行います。</p> <p>②農業の実験・実習をとおして、主体的に取り組む地域貢献につながる学習を行います。</p> <p>③各教科との横断的な学びや地域社会と協働した学びにより、探究的な学びに取り組みます。</p> <p>④ICTを活用したスマート農業やGAP認証の取り組みによる学習を行います。</p> <p>⑤学科に関連する企業と連携し、農業及び地域理解を深めるための現場見学や実習を行います。</p>

2 学習目標

<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
--

3 指導の重点

<p>① 1年次での学習内容をふまえ、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をさらに伸ばす。</p> <p>② 教科書の題材を通して、異文化を理解しようとする心や社会への関心、自身・自国への関心を高める。</p> <p>③ 場面や目的に応じて、自分自身の考えや思いを適切に表現する能力を養う。</p> <p>④ 英語学習に対する積極的な態度を養う。</p>

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</p> <p>・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・授業の取組（授業態度、学習活動への参加状況など） ・提出物（ワークブック、ノート、課題等）の内容 ・小テスト（単語テスト） ・定期テスト などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業の取組（授業態度、学習活動への参加状況など） ・提出物（ワークブック、ノート、課題等）の内容 ・定期テスト などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業の取組（授業態度、学習活動への参加状況など） ・提出物（ワークブック、ノート、課題等）の内容 ・小テスト（単語テスト） ・定期テスト などから、評価します。
内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。			

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7	Lesson6 Lesson7	Seeds for Future Generations Over the Wall	動詞の目的語になる if 節 wonder if …と ask if…を理解する。伝統野菜を未来につなぐために自分たちができることを考える。 関係副詞 when と where を理解する。世界中の壁画を描く活動を学んだり外国の方々と交流する方法について調べ学ぶ。	13 12	ワークシート 定期テスト 単語テスト 授業態度 ワークブック
	Communication2	入国審査	入国審査の際の便利な表現を学ぶ。	2	
8 9 10 11 12	Lesson8 Lesson9	Inspiration from Nature The Bitter Truth behind Chocolate	知覚動詞について学ぶ。生物模倣について学んだり自然界のデザインをヒントに開発された製品について調べたりする。 使役動詞について理解する。チョコレートを巡る社会問題とその解決策について学び自分の意見や考えをまとめる。	13 13	ワークシート 定期テスト 単語テスト 授業態度 ワークブック
1 2 3	Lesson10	Fighting Angel	分詞構文を理解する。ナイチンゲールの生涯について学び、人を助ける職業について自分で調べたり自分の考えをまとめたり人の意見を聞く。	17	ワークシート 定期テスト 単語テスト 授業態度 ワークブック

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・ワークシート、ワークブックの提出。
- ・小テスト（単語テスト等）の実施、発表（音読テスト、パフォーマンステスト）。
- ・長期休業中課題提出。

8 担当者からの一言

英語を通して、日常的な話題や身近な話題について、自分の考えを整理し、コミュニケーションを積極的に図りましょう。定期テスト、発表、小テスト、提出物、授業への取り組みを総合的に評価しますので、日頃からコツコツと取り組むことが大切になります。間違えを気にせず、前向きに授業に取り組みましょう。

(担当：佐藤美穂子、高原貴美子)

教科(科目)	保健体育（体育）	単位数	2単位	学年(コース)	3学年
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』				
副教材等	大修館書店『現代高等保健体育ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する</p> <p>①農業に関する専門的な知識や技術を身に付け、地域社会に貢献する力を育成します。</p> <p>②課題解決能力を養い、効率的かつ創造的に解決する能力を育成します。</p> <p>③自ら学び、主体的、意欲的に取り組む態度を育成します。</p> <p>④農業や地域の課題を探究し続け、何事にも粘り強く挑戦する姿勢を育成します。</p> <p>⑤生命の大切さを認識し、他者を思いやる豊かな人間性を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するため、次のような教育活動を行う</p> <p>①農業に関する体験的な学習をとおして、基礎的・基盤的知識や技術の習得を行います。</p> <p>②農業の実験・実習をとおして、主体的に取り組む地域貢献につながる学習を行います。</p> <p>③各教科との横断的な学びや地域社会と協働した学びにより、探究的な学びに取り組みます。</p> <p>④ICTを活用したスマート農業やGAP認証の取り組みによる学習を行います。</p> <p>⑤学科に関連する企業と連携し、農業及び地域理解を深めるための現場見学や実習を行います。</p>

2 学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

3 指導の重点

各種の運動の合理的な実践を通して、

- ① 運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。
- ② 体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育てる。
- ③ 生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
- ④ 基本的な生活習慣と社会のルール、マナーの遵守ができる生徒の育成に努め、その定着を図る。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・レポートやワークシート、提出物などの内容確認 ・各種目における実技試験の実施 ・記録をデータ化し、記録の伸び率を比較 ・試合中の様子を ICT 機器で記録し、振り返りを行う。 ・体力を数値化し科学的に分析などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、グループ学習への取り組みの観察 ・グループノートやワークシートなどの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、グループ学習への取り組みの観察 ・グループノートやワークシートなどの内容の確認 ・自己評価や相互評価等の状況を分析などから、評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法	
4 ～ 5	体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	・柔軟性を高める運動 ・持久力を高める運動 ・筋力を高める運動 ・調整力を高める運動	8	評価の観点の趣旨と評価方法踏まえて、各学習内容についてそれぞれ評価する。	
5 ～ 9	選択①	・陸上競技 ・球技ゴール型 ・球技ベースボール型 ・球技ネット型	・短距離走、走り幅跳び ・サッカー ・ソフトボール ・バレーボール	1つ選択 22		
9 ～ 10	陸上競技	・長距離走	・男子 3km・4km ・女子 2km・3km タイムトライアル	8		
10 ～ 11	選択②	・球技ゴール型 ・球技ネット型 ・球技ネット型 ・武道	・バスケットボール ・バドミントン ・卓球 ・柔道	1つ選択 18		
12	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方	・各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ・ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方 ・スポーツ振興のための施策と諸条件 ・スポーツと環境	6		・確認テスト ・学習ノートで評価する。
2	特編授業			8		

計70時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・グループノートやワークシート等の提出があります。
- ・ケガなどの身体的理由により、運動が制限される生徒に対しては、レポート作成を指導します。

8 担当者からの一言

- ・運動が得意、不得意にかかわらず、体を動かすことの楽しさや心地よさを感じてください。
 - ・仲間と共に運動することで、達成感や充実感を味わってください。
 - ・年間を通じて自らの体力向上に努め、生涯にわたって健康を保持増進できる力を身につけましょう。
- (担当： 古畑 豊和)

教科(科目)	家庭 (家庭総合)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年
使用教科書	東京書籍 自立・共生・創造				
副教材等	東京書籍 (自立・共生・創造) 学習ノート				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する</p> <p>①農業に関する専門的な知識や技術を身に付け、地域社会に貢献する力を育成します。</p> <p>②課題解決能力を養い、効率的かつ創造的に解決する能力を育成します。</p> <p>③自ら学び、主体的、意欲的に取り組む態度を育成します。</p> <p>④農業や地域の課題を探究し続け、何事にも粘り強く挑戦する姿勢を育成します。</p> <p>⑤生命の大切さを認識し、他者を思いやる豊かな人間性を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するため、次のような教育活動を行う</p> <p>①農業に関する体験的な学習をとおして、基礎的・基盤的知識や技術の習得を行います。</p> <p>②農業の実験・実習をとおして、主体的に取り組む地域貢献につながる学習を行います。</p> <p>③各教科との横断的な学びや地域社会と協働した学びにより、探究的な学びに取り組みます。</p> <p>④ICTを活用したスマート農業やGAP認証の取り組みによる学習を行います。</p> <p>⑤学科に関連する企業と連携し、農業及び地域理解を深めるための現場見学や実習を行います。</p>

2 学習目標

<p>生活を営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために子どもを理解し、食生活、住生活および環境について、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域および社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>

3 指導の重点

<p>生活を主体的に営むために必要な子育てに関する知識および、食生活、住生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能の習得を目指します。</p> <p>生涯を見通して、家庭や地域および社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を育てます。</p> <p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したり、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践できることを目指します。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・生活を主体的に営むために必要な、保育、食生活、住生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけようとしている。</p>	<p>・自己の家庭生活について主体的に考え、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけようとしている。</p>	<p>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・小テスト・定期考査の分析 ・授業中の発言、実験・実習への取り組みの観察 ・実験・実習のレポートやワークシート、提出物の内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・小テスト・定期考査の分析 ・授業中の発言、実験・実習への取り組みの観察 ・実験・実習のレポートやワークシート、提出物の内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、実験・実習への取り組みの観察 ・実験・実習のレポートやワークシート、提出物の内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。
内容のまとめりごとに、各観点 「A：十分に満足できる」「B：おおむね満足できる」「C：努力をようする」で評価します。 内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。			

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6	第3章 子どもと共に育つ	1. 命を育む	・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。	3	学習ノート提出 授業態度
		2. 子どもの育つ力を知る	・子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。	5	ワークシート評価 授業態度
		3. 子どもと関わる	・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。	5	ワークシート評価 小テスト 学習態度
		4. 子どもとの触れ合いから学ぶ	・子どもや子育てに対する理解を深めるために、子どもとの触れ合いや、親や保育者と子どもの関わり方の観察など、さまざまな体験をする。	4	学習ノート提出 授業態度
		5. これからの保育環境	・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 ・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。	3	ワークシート評価 定期テスト
7	第6章 食生活をつくる	1. 食生活の課題について考える	・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。	3	学習ノート提出 ワークシート評価 授業態度
		2. 食事と栄養・食品	・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。	9	ワークシート評価 小テスト 授業態度
		3. 食品の選択と安全	・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。	3	学習ノート提出 授業態度

9	10	4. 生涯の健康を見通した食事計画	・自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する。	3	学習ノート提出 授業態度	
		5. 調理の基本	・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。 ・配膳やマナーに関心を持つ。	10	レポート 学習ノート提出 実習態度	
		6. 食生活の文化と知恵	・郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。 ・世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への影響について理解する。	2	ワークシート評価 学習態度	
		7. これからの食生活	・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。	2	学習ノート提出 授業態度 小テスト	
11	第10章 持続可能な生活を営む	1. 持続可能な社会を目指す	・持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境との関わりについて理解する。	2	学習ノート提出	
		2. 1人1人の力で社会を動かす	・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費について理解し、ライフスタイルを工夫する。 ・一人の主体者として、社会全体をよりよい方向に動かしていこうとする。	1	授業態度	
11	12	第8章 住生活をつくる	1. 住生活の変遷	・生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支える生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。	4	ワークシート評価 授業態度
			2. 安全で快適な住生活の計画	・自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。	4	学習ノート提出 授業態度
			3. 住生活の文化と知恵	・日本の住文化の継承・創造に寄与するために、気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。	2	学習ノート提出 授業態度
			4. これからの住生活	・持続可能な住居や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。	2	ワークシート評価 定期テスト
1	1	第11章 これからの生活を創造する	1. 生活をデザインする	・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 ・これから持続可能な社会を構築していくために、何ができるか考えて実践しようとする。	3	学習ノート提出 授業態度

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・ワークノートの提出
- ・保育で制作する作品
- ・実験・実習のレポートの提出
- ・小テストの実施

8 担当者からの一言

身の回りの事柄に関心や課題意識を持ち、自分や家族の生活がよりよいものになるように、生活に必要な基礎的なことを理解し、実践できる技能を身に付けましょう。

授業態度を重視します。欠席や遅刻、忘れ物をせず、望ましい態度で授業に臨んで下さい。課題プリント、ノート等の提出物は期日を厳守してください。卒業後、自立した生活を営む事ができる知識と技術を習得し、健康に人生が送れる力を身につけましょう。

(担当： 藤塚)